

平成25年度 柏崎市特別活動部 活動報告

部長 佐藤 二三子

1 研究活動の方針

- (1) 子どもの創意工夫を尊重し、より豊かで創造的な活動ができるような特別活動の実践を積極的に進めていく必要がある。そのため、「一人一人の意見が生かされるような活動の過程を工夫すること」を重視した研修を深め、会員の指導力の向上を図る。
- (2) 小・中学校の連携を図り、具体的な内容の情報交換を行う。

2 研究の実際

- (1) 柏崎市刈羽郡中学校 生徒会交歓会

【内容】 期日：8月2日 会場：刈羽村生涯学習センター ラピカ

小千谷市産業開発センター 地域復興支援室 地域復興支援員 加藤 圭 様を講師にお迎えし、レクリエーションやグループワークについて研修した。柏崎市刈羽郡内の14校の中学校生徒会のリーダーと学校教育研究会特別活動部員が参加し、「生徒会の活動をもっとワクワクするようなものにしていくためには？」をテーマに、中学生が実際に、ワールドカフェを体験した。特別活動部員も、生徒たちが対話を通して新しい発想を生み出していく過程を一緒に体験したり、参観したりしての研修となった。

(研修内容)

- ① アイスブレイク ②ワールドカフェとは ③ワールドカフェの体験 ④ふりかえり

(研修に参加して)

アイスブレイク、ラウンド1～ラウンド3までの対話を重ねるにしたがって、生徒の話合いへの参加態度に変容が見られ、表情が和み、談笑する姿が見られるようになった。対話の時間の確保とさまざまなアイデアがいくつも交わることで、新たな発想につながったと考えられる。常に生徒の言葉に耳を傾け、「固い顔をしない。まずはお茶でも飲みながら。」「いいね。こんな例もあるよ。」等の言葉掛けをしている指導者の姿から、「待つ姿勢」と「場を和ませる」アドバイスの大切さを学ぶことができた。また、初めて顔を合わせた生徒同士が互いの考えを出し合って話し合う活動の様子を参観することで、コミュニケーション能力の発達について、小中の連携の視点からも研修を深めることができた。

- (2) 特別活動研修会

【内容】 期日：10月1日 会場：柏崎市立教育センター

柏崎市立教育センターとの共催で「つながる力を引き出す学級づくり」～集団作りにおける教師の仕事～をテーマとした研修会を実施した。講師には、上越教育大学准教授 赤坂真二 様をお招きし、学級づくりの重要性と「つながる学級づくりのために教師はどうすればよいのか」についてご講話いただいた

(研修に参加して)

講話から、「教師は、理想の学級を児童・生徒に語ることが大切であること」「学級の最低条件の一つは、学級の児童生徒に指導が入ることであり、一斉授業が成立する力を教師がある程度身に付けることが大切であること」「児童生徒の求める教師像は変化しており、つながってくれる教師を求めていること」等について学ぶことができた。さらに、つながる力を引き出す学級づくりのために、教師はどうすればよいのかについて具体的にご指導いただいた。改めて、学級づくりの重要性を学ぶ研修となった。

3 成果と課題

よりよい人間関係づくりのための方法論や、小・中の9年間を通した学びの深まりを、実際に生徒の姿を通して研修することができた。今後はより多くの部員が参加できるように、実施時期や研修内容を検討していきたい。

お茶を飲みながら、テーマについて話し合った。



